

## CiNii Research 利用統計準備手順（Google アナリティクス 4 版）

CiNii Research で提供する、Google アナリティクスによる利用統計をご使用される場合、以下の手順に従って、準備をしてください。Google のアカウント取得や Google アナリティクス利用規約の同意が必要になりますので、ご使用される場合はあらかじめご了解ください。

Google アナリティクスの一般的な使用方法については、この手順書では説明しません。Google アナリティクスに関するウェブページや書籍等をご参照ください。

本手順は、以下の手順で構成されています。

- Google アナリティクス 4 の測定 ID 取得手順
- Google アナリティクスの測定 ID 埋め込み手順
- Google アナリティクス 4 の設定手順
- Google アナリティクス 4 の集計表示手順

## ●Google アナリティクス 4 の測定 ID 取得手順

1. Google のアカウントを取得し、Google にログインしてください。
2. 下記の Google アナリティクスのページにアクセスし、Google のアカウントでログインしてください。

<https://analytics.google.com/>

3. 下図のような画面が表示されるので、画面左下の「管理」をクリックしてください。



4. 下図のような画面が表示されるので、画面中央の「プロパティ」の「+プロパティ作成」をクリックしてください。



5. 下図のような画面が表示されるので、プロパティ名に「CiNiiResearch」（変更してもよい）を入力、「レポートのタイムゾーン」を「日本」に、「通貨」を「日本円(¥)」（課金される訳ではない）にし、「次へ」をクリックしてください。

プロパティの詳細  
プロパティは、企業のウェブやアプリのデータを表します。アカウントには複数のプロパティを設定できます。 [詳細](#)  
既存の Firebase プロジェクトで新しいプロパティを作成する場合は、 [Firebase アカウントに移動](#)してください。

Google アナリティクス 4 プロパティを作成して、ウェブやアプリのデータを測定します。

プロパティ名  
CiNiiResearch

レポートのタイムゾーン  
日本 (GMT+09:00) 日本時間

通貨  
日本円 (¥)

プロパティのこれらの詳細は、後で [管理] で編集できます

[詳細オプションを表示](#)

このアカウントでは、あと 1,996 個のプロパティを作成できます。

次へ

©2023 Google | [アナリティクス ホーム](#) | [利用規約](#) | [プライバシー ポ](#)

6. 下図のような画面が表示されるので、スクロールし、「作成」をクリックしてください。

管理 ユーザー

- 広告費用を最適化する
- コンバージョン数を増やす
- コンテンツの収益化を測定する
- オンライン販売を分析する
- アプリのインストールを測定する
- 見込み顧客の発掘を測定する
- その他

作成 前へ

7. 下図のような画面が表示されるので、画面左下の「ウェブ」をクリックしてください。



8. 下図のような画面が表示されるので、「ウェブサイトの URL」で「https://」を選択し、「cir.nii.ac.jp」を入力してください。ストリーム名に「CiNiiResearch」（変更してもよい）を入力、「拡張計測機能」を「オフ」にし、「ストリームを作成」をクリックしてください。



9. 下図のようなポップアップ画面が表示された場合、画面左上ので、「×」をクリックし、ポップアップを閉じてください。



10. 下図のようなポップアップ画面が表示されるので、G で始める「測定 ID」をメモし、画面左上ので、「×」をクリックし、ポップアップを閉じてください。



- Google アナリティクスの測定 ID 埋め込み手順  
「CiNii Research 機関認証更新申請手順」に従い、取得した測定 ID をトラッキングコード欄に入力し、更新申請を行ってください。

● Google アナリティクス 4 の設定手順

1. 下記の Google アナリティクスのページにアクセスし、Google のアカウントでログインしてください。

<https://analytics.google.com/>

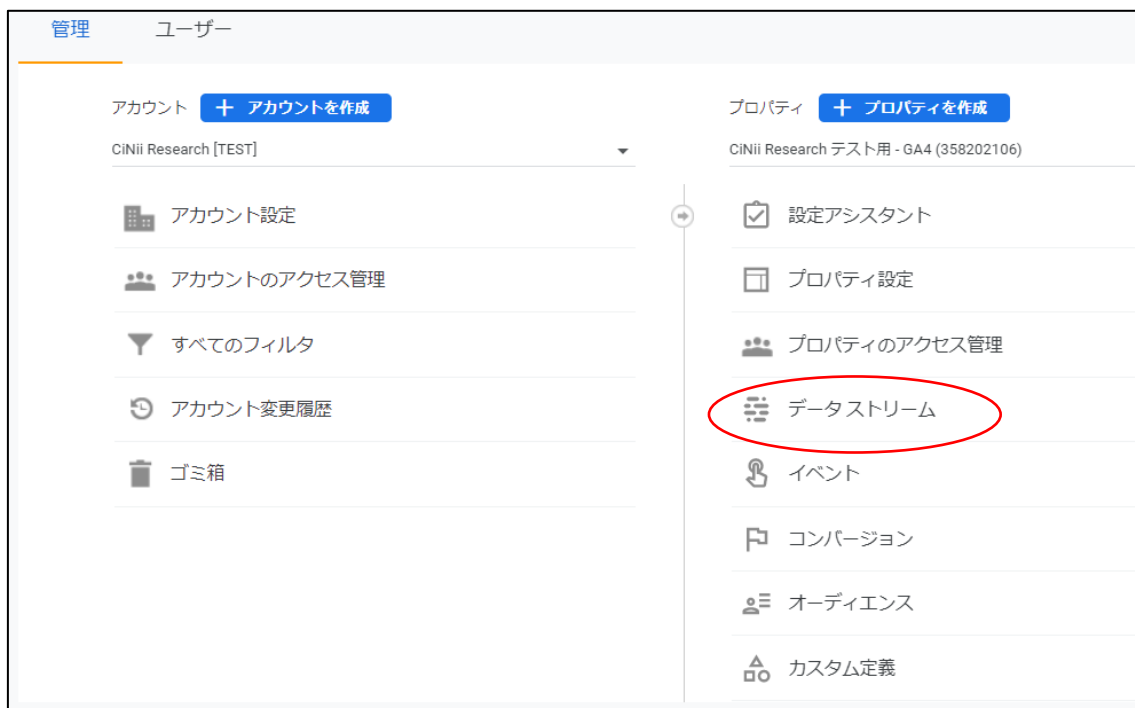
2. 下図のような画面が表示されるので、画面左下の「管理」をクリックしてください。



3. 下図のような画面が表示されるので、画面中央の「プロパティ」のプルダウンメニューから、作成した Google アナリティクス 4 のプロパティを選択してください。



4. 下図のような画面が表示されるので、「データ ストリーム」をクリックしてください。



5. 下図のような画面が表示されるので、表示されているデータストリームをクリックしてください。



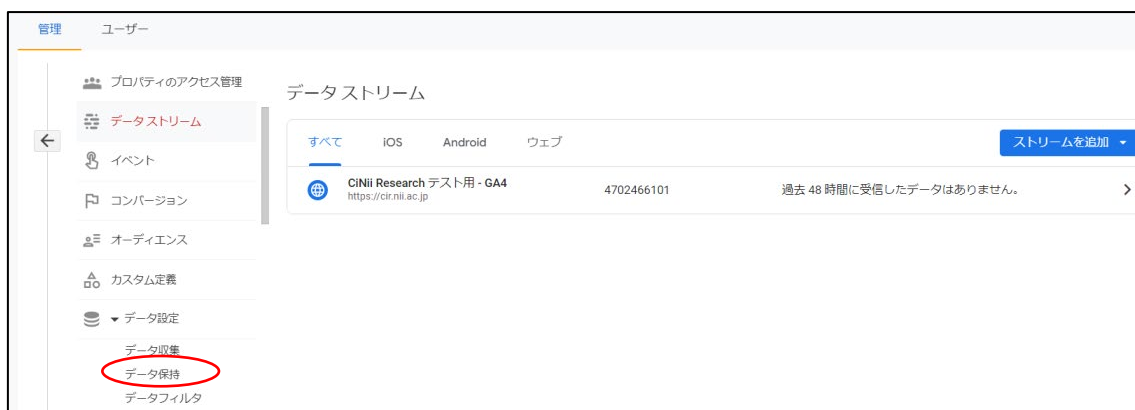
6. 下図のようなポップアップ画面が表示されるので、画面右上の鉛筆マークをクリックしてください。



7. 下図のような画面が表示されるので、拡張計測機能を「オフ」にし、画面左上の「×」をクリックし、ポップアップ画面を閉じてください。



8. 下図のような画面が表示されるので、画面左のメニューをスクロールし、「データ設定」の「データ保持」をクリックしてください。



9. 下図のような画面が表示されるので、「イベントデータの保持」を「14 か月」の変更し、「保存」をクリックしてください。





10. 下図のような画面が表示されるので、画面左のメニューの「カスタム定義」をクリックしてください。



11. 下図のような画面が表示されるので、画面右上の「カスタムディメンションを作成」をクリックしてください。



12. 下図のようなポップアップ画面が表示されるので、「ディメンション名」と「イベントパラメータ」に「event\_category」を入力し、画面右上の「保存」をクリックしてください。

The screenshot shows a popup window titled '新しいカスタムディメンション'. In the top right corner, there is a blue '保存' button highlighted with a red circle. Below the title is a warning icon and text: '固有の値が多いカスタムディメンションを登録すると、レポートに悪影響が及ぶ可能性があります。カスタムディメンションの作成に関するベストプラクティスを実践してください。' Below this is a link for 'おすすめの方法の詳細'. The form contains the following fields: 'ディメンション名' with 'event\_category' entered (highlighted with a red circle), '範囲' with 'イベント' selected in a dropdown, '説明' (empty text area), and 'イベントパラメータ' with 'event\_category' selected in a dropdown (highlighted with a red circle).

13. 下図のような画面が表示され、12 で追加した「event\_category」が「ディメンション名」に表示されます。12 と同じ手順で、「event\_action」と「event\_label」のカスタムディメンションを作成してください。設定作業はこれで終了です。



- Google アナリティクス 4 の集計表示手順

「Google アナリティクス 4 の設定手順」で設定作業が完了しても、CiNii Research での Google アナリティクス 4 対応が完了するまで、Google アナリティクス 4 での集計は行われません。

また、**Google アナリティクス 4 では、ユニバーサルアナリティクスで利用可能であったカスタムレポートが利用できなくなりました。** 今まで CiNii Research の Google アナリティクスで、NII が提供したカスタムレポート（ページ閲覧数、イベント数）を利用していた場合、Google アナリティクス 4 での集計開始後、以下の手順に従い、カスタムレポートに相当する、Google アナリティクス 4 の集計を表示してください。ただし、カスタムレポートを完全に再現するものではありませんので、ご了承ください。

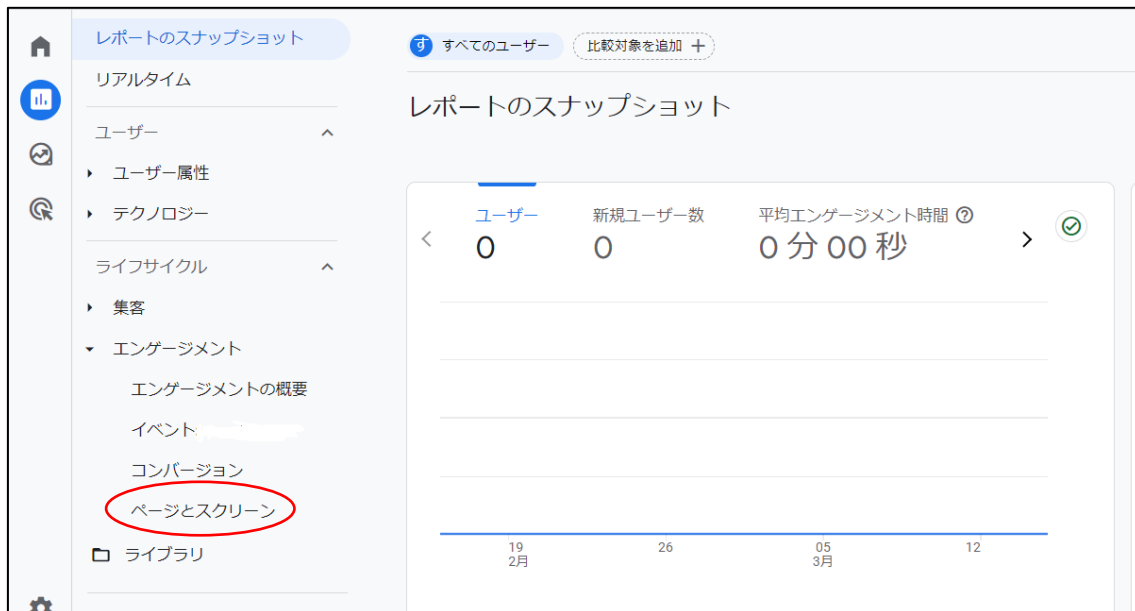
1. 下記の Google アナリティクスのページにアクセスし、Google のアカウントでログインしてください。

<https://analytics.google.com/>

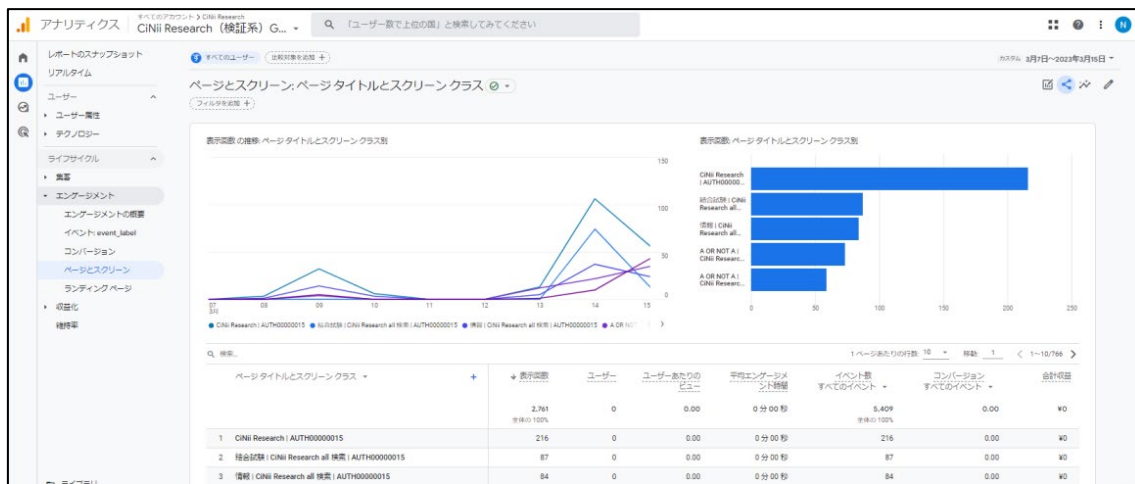
2. 下図のような画面が表示されるので、画面左メニューの棒グラフのアイコンで表示されている「レポート」をクリックしてください。



- 下図のような画面が表示されます。カスタムレポートのページ閲覧数に相当する集計を見たい場合は、画面左メニューの「ライフサイクル」→「エンゲージメント」→「ページとスクリーン」をクリックしてください。



- 下図のような画面が表示され、ページ閲覧数に相当する集計が確認できます。



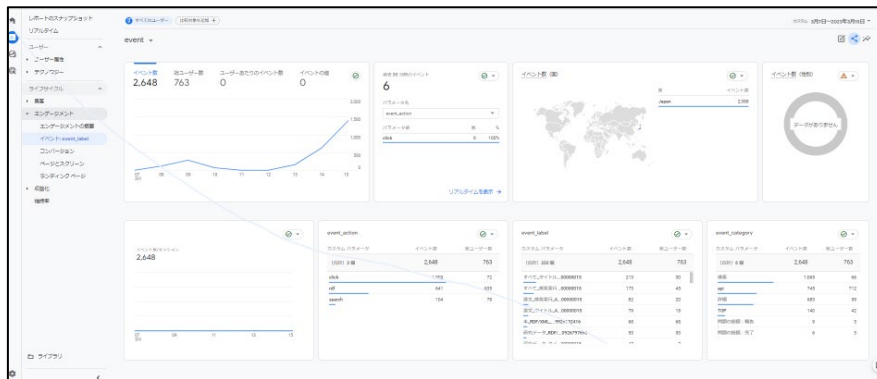
5. カスタムレポートのイベント数に相当する集計を見たい場合は、画面左メニューの「ライフサイクル」→「エンゲージメント」→「イベント」をクリックしてください。



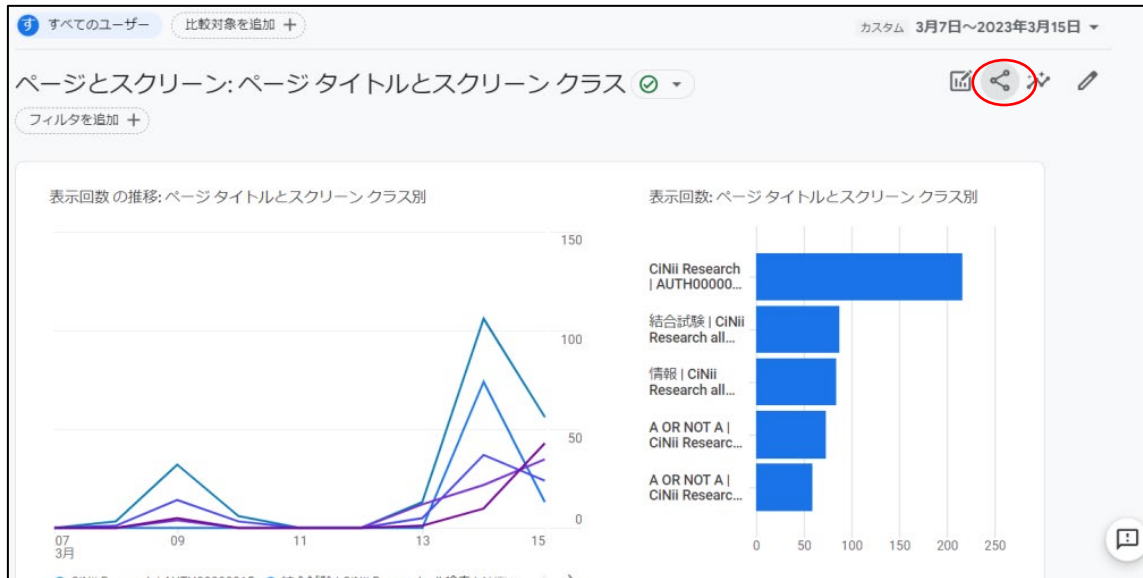
6. 下図のような画面が表示されるので、「event」をクリックしてください。



7. 下図のような画面が表示され、イベント数に相当する集計が確認できます。



8. 集計結果を CSV 形式でダウンロードしたい場合は、集計画面の右上の点グラフのアイコンをクリックしてください。



9. 下図のようなポップアップ画面が表示されるので、「ファイルをダウンロード」をクリックしてください。

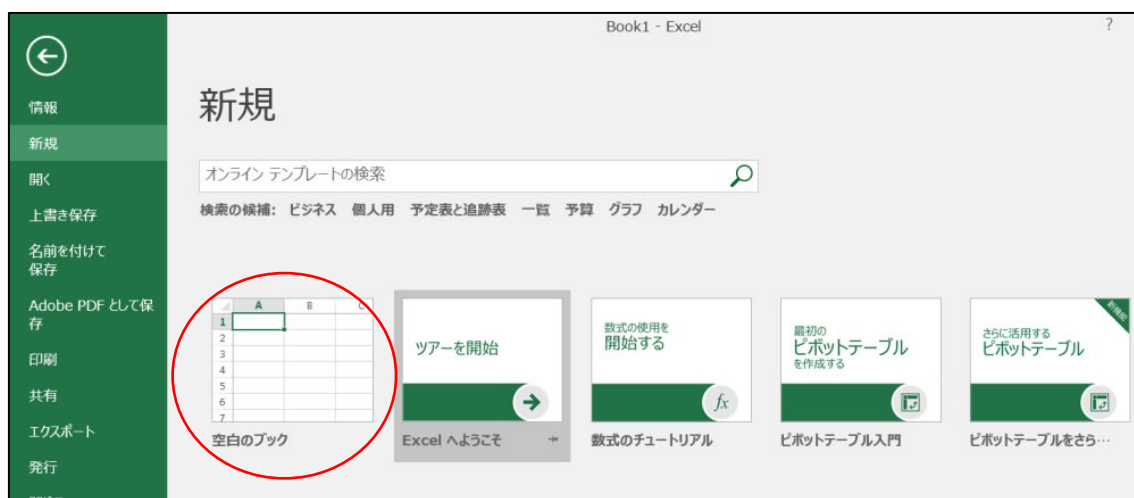


10. 下図のようなポップアップ画面が表示されるので、「CSV 形式でダウンロード」をクリックしてください。

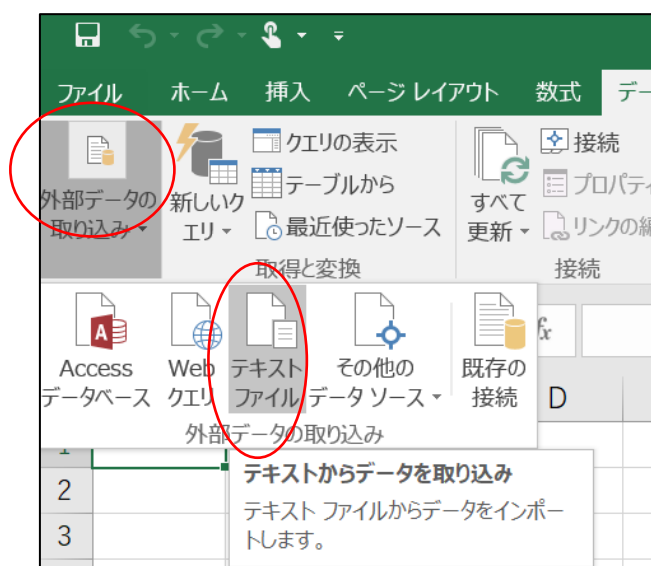


11. PC に CSV ファイルがダウンロードされます。
12. 本手順にてダウンロードした CSV ファイルを Excel で開いた際に文字化けすることがあります。その場合の対処法として以下の一例を記載します。なお、本手順では、Excel2016 を使用しています。Excel2016 以外では、表示される画面が本手順と違う場合がありますので、使用しているバージョンの Excel に読み替えてください。

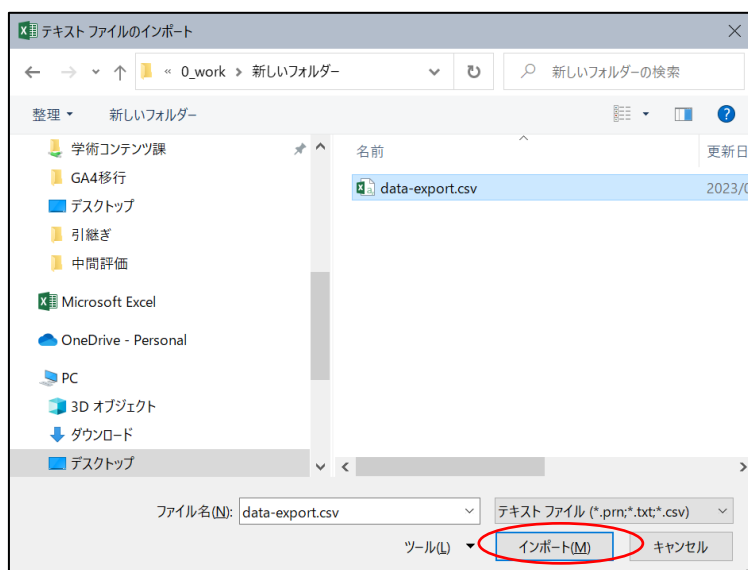
(1) Excel を起動し、「空白のブック」をクリックしてください。



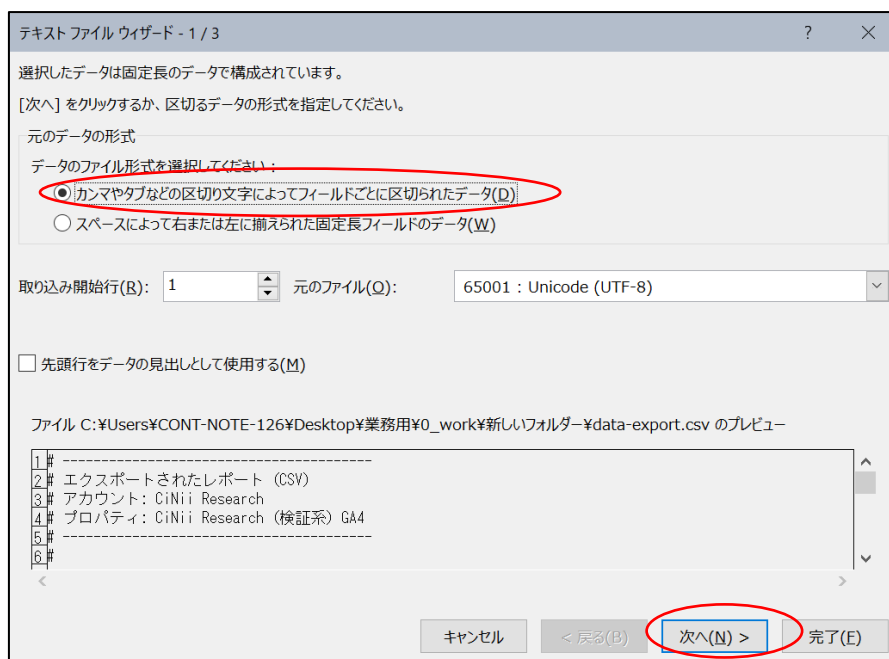
(2) 「データ」→「外部データの取り込み」をクリックし、表示されるメニューから、「テキストファイル」をクリックしてください。



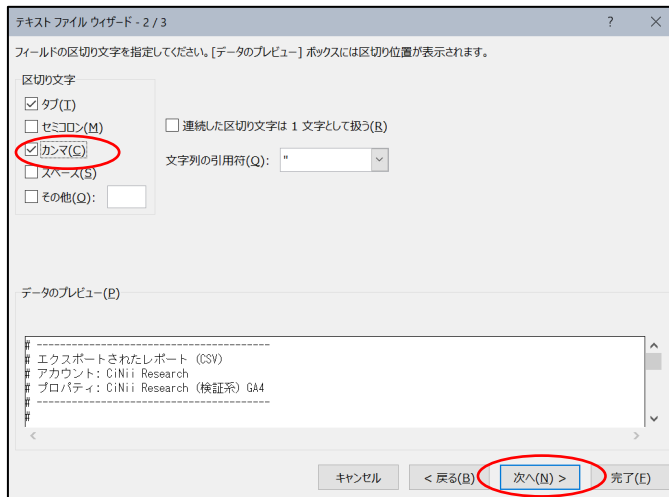
- (3) 下図のようなファイルの指定画面が表示されるので、ダウンロードした CSV ファイルを指定し、「インポート」をクリックしてください。



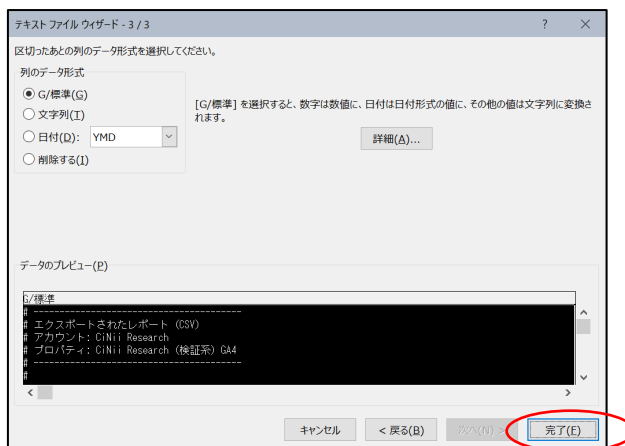
- (4) 下図のような画面が表示されるので、「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



- (5) 下図のような画面が表示されるので、「区切り文字」の「カンマ」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



- (6) 下図のような画面が表示されるので、「完了」をクリックしてください。



- (7) 下図のような画面が表示されるので、「OK」をクリックすると、文字化けせずに Excel に表示されます。

